

## 令和7年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	13	学校名	商業高等学校
----	----	-----	--------

### 1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	地域と連携・協働した販売実習～県商マルシェ～
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	経営ビジネス科・情報ビジネス科・総合ビジネス科2年生「実学Ⅱ」における授業として取り組んだ。3年生「課題研究」もコラボさせ、規模を拡大した。学校と近隣住民との連携機会の増加を目標とした。
連携・協働相手	桜井市社会福祉協議会・桜井小学校・桜井市役所・地元防災自治会・地元自治会・自衛隊
地域と共有している目標・課題等	実学教育推進と地域連携活動を目指して活動した。本校で販売実習を行い、地域の活性化を目指した。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
<p>各ビジネス科の特徴を活かし、3学科を1班に数人ずつ配置のうえ、地域活性化への取組として販売実習を行った。桜井市役所の環境総務課には、職員駐車場を臨時駐車場として協力。桜井市社会福祉協議会には、バス運転手の手配と添乗員として駐車場と会場を結ぶシャトルバスを運行協力。桜井小学校には、職員用の駐車場で協力。地元防災自治会と自衛隊と連携したブースの運営などを実施した。</p> <p>当日の販売実習に向けて、仕入業者の開拓や広告の作成、店舗レイアウトについて学び、販売品目の決定や価格交渉などを行った。生徒実行委員は、配置図やチラシ作成、金券シールの準備等と当日の必要物品の搬出・搬入を行った。</p>	

### 2. 事業の成果と課題

実学で学習した内容を具現化する取り組みとして販売実習の諸活動に自主的に取り組んだ。昨年度までは2か所で実施していたものを本年度初めて1か所で開催した。金券シールでの実施やキャッシュレス決済ブースを設けるなど新しい試みを行ったことで、戸惑いが生じたところがあった。次年度以降で改善をしながら、さらなる充実を図っていきたい。

